

宇部工業高等専門学校	開講年度	令和06年度 (2024年度)	授業科目	国語 I A
------------	------	-----------------	------	--------

科目基礎情報				
科目番号	21001	科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	電気工学科	対象学年	1	
開設期	1st-Q	週時間数	4	
教科書/教材	『現代の国語』『言語文化』(大修館)、「常用漢字の基本演習」(東京書籍)、「カラー版新国語便覧」(第一学習社)			
担当教員	末裕 昌子			

到達目標				
①読む力：文法事項を理解し、作品を読解できる。常用漢字が読める。読書を楽しむことができる。				
②書く力：授業の内容や自分の考えをノートやプリントにまとめることができる。論理的な文章が書ける。常用漢字の書き取りができる。				
③話す力：適切に音読できる。根拠を明示しながら自分の意見を述べることができる。				
④聞く力：授業のポイントを的確に聞き取り、情報を整理できる。				

ルーブリック				
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安(可)	未到達レベルの目安
評価項目1	文章の論理を的確に把握し読解できる。常用漢字の読み取り問題が8割以上できる。読書の楽しみ方が習得できる。	文章の論理を把握し読解できる。常用漢字の読み取り問題が7割できる。読書を楽しむことができる。	文章の論理の把握は不十分であるが、読解できる。常用漢字の読み取り問題が6割できる。読書に取り組める。	作品を読解できない。常用漢字の読み取り問題が6割以下である。読書に取り組めない。
評価項目2	授業内容をまとめ、適宜見直すことができる。自分の考えを根拠に基づいてまとめることができる。段落同士の関係を意識した、論理的な文章が書ける。常用漢字の書き取り問題が8割以上できる。	授業内容や自分の考えをまとめることができる。論理的な文章が書ける。常用漢字の書き取り問題が7割できる。	授業内容をメモすることができる。自分の考えを表現できる。論理的な文章を書くために必要なことが説明できる。常用漢字の書き取り問題が6割できる。	授業内容をメモすることができず、自分の考えも表現できない。論理的な文章を書くために必要なことが理解できていない。常用漢字の書き取り問題が6割以下である。
評価項目3	文のリズムを意識しながら適切に音読できる。根拠を明示し、説明手順を意識しながら自分の意見を述べることができる。	適切に音読できる。根拠を明示しながら自分の意見を述べることができる。	音読ができる。自分の意見を述べることができる。	音読ができない。自分の意見を述べることができない。
評価項目4	授業のポイントを的確に聞き取って情報を整理し、ノートやプリントのまとめ作業に繋げることができる。対話を通して新たな発想や視点を獲得できる。	授業のポイントを的確に聞き取り、情報を整理できる。対話を通して新たな発想や視点を理解できる。	授業のポイントを的確に聞き取ることができる。対話において他者の立場や考えを尊重することができる。	授業のポイントを聞き取ることができない。対話において他者の立場や考えを尊重することができない。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	第1学期開講。 検定教科書を使用し、現代文を学習する。
授業の進め方・方法	教科書本文を読解する。内容理解のためにプリントを配付する。
注意点	・提出物については、厳しく対応する。締切を厳守すること。 ・授業中、プリントを配付する。ファイルを準備し、整理しておくこと。 ・漢字テストは「小テスト」として評価する。

授業の属性・履修上の区分

<input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング	<input checked="" type="checkbox"/> ICT 利用	<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業
--	--	---------------------------------	---

授業計画

	週	授業内容	週ごとの到達目標
前期 1stQ	1週	ガイダンス 評論1-①②	鷲田清一「他者を理解するということ」を読み、評論文を読む方法を身につける。 接続語や指示語等に注目しながら文脈を把握することができる。 段落同士の関係に注意しながら、論理の展開や要旨を的確にとらえることができる。 抽象的な事象について、具体例を補いながら読解することができる。 筆者のものの見方や考え方が理解できる。
	2週	評論1-③④	評論文を読む方法を身につける。
	3週	評論2-①②	香山リカ「空気を読む」を読み、評論文を読む方法を身につける。
	4週	評論2-③④	評論文を読む方法を身につける。
	5週	評論3-①②	國分功一郎「贅沢を取り戻す」を読み、評論文を読む方法を身につける。
	6週	評論3-③④	評論文を読む方法を身につける。
	7週	評論3-⑤⑥	評論文を読む方法を身につける。
	8週	定期試験 試験返却・解説	学習の総まとめをすることができる。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

基礎的能力	人文社会科学	国語	国語	論理的な文章（論説や評論）の構成や展開を的確にとらえ、要旨・要点をまとめることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8
				論理的な文章（論説や評論）に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べるができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8
				社会生活で使われる語彙（故事成語・慣用句等を含む）を増やし、思考・表現に活用できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8
				文学作品（小説・随筆・詩歌・古典等）を文脈に即して鑑賞し、そこに描かれたものの見方や登場人物の心情を説明できる。	3	
				言語的・文化的教養（語彙・知識等）に広く関心を持ち、そこで得られた知識や考え方を効果的な表現に活用できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8
				言語作品の読解を通して、人間や社会の多様な在り方についての考えを深め、自己を客観的に捉えたり自分の意見を述べるができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8
				常用漢字を中心に、日本語を正しく読み、表記できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8
				課題や条件に応じ、根拠に基づいて議論できる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8
				相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8
				新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8

評価割合				
	試験	レポート	小テスト	合計
総合評価割合	70	15	15	100
知識の基本的な理解	50	10	15	75
思考・推論・創造への適用力	10	5	0	15
汎用的技能	10	0	0	10